

エコマネジメント③ 環境会計

環境会計の開示

日立化成グループは、環境投資や環境活動を効率的に行うとともに、環境負荷を継続的に低減するため、環境省のガイドラインに基づき1999年度から環境会計制度を導入しています。環境活動に対する経営資源の配分と、環境技術や人と環境にやさしい製品がもたらす価値について自ら検証すると同時に、これらを開示することで、ステークホルダーの皆さまに企業姿勢をより深く理解していただくことを目的としています。

2005年度の集計結果

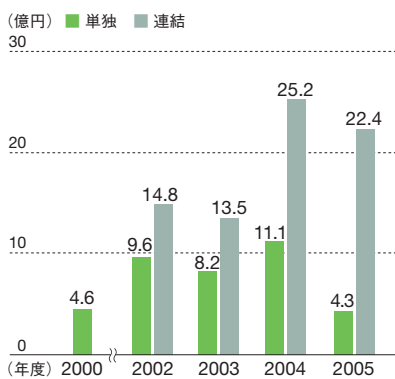
環境負荷を低減させる設備の運転管理費や環境にやさしい製品の研究開発費などの費用は、2005年度、単独57.2億円、連結115.5億円となり、連

結で前年度比108%となりました。

また、VOC（揮発性有機化合物）排出量を抑制するための蓄熱式脱臭装置や省資源型製品の製造設備に、2005年度は、単独4.3億円、連結22.4億円を投資しました。

効果は、金額で評価する「経済効果」と、環境負荷抑制量で評価する「物量効果」

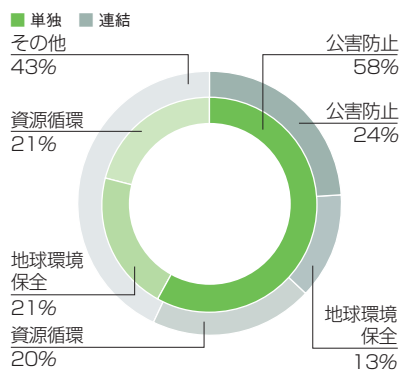
環境投資金額推移



の両面から捉えています。2005年度の経済効果は前年度比単独151%、連結123%となりました。

2006年度は引き続き、人と環境にやさしい製品の開発を進めるとともに、VOC排出量の抑制など環境負荷の低減に注力していきます。

環境投資の内訳 (2005年度)



(億円)

| 項目 | 単独 | | 連結 | | 主な内容 | |
|-------|------------|--------|--------|--------|-------|----------------------|
| | 2005年度 | 2004年度 | 2005年度 | 2004年度 | | |
| 費用 | 事業所エリア内コスト | 32.3 | 33.6 | 53.6 | 53.9 | 環境負荷低減設備の運転管理費、減価償却費 |
| | 上・下流コスト | 0.3 | 0.2 | 0.6 | 0.8 | 容器の回収・リサイクルなどの費用 |
| | 管理活動コスト | 3.5 | 3.7 | 9.2 | 8.9 | 緑化・美化・環境マネジメントなどの費用 |
| | 研究開発コスト | 20.5 | 19.1 | 50.0 | 42.4 | 環境負荷低減の研究開発・設計などの費用 |
| | 社会活動コスト | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 社会貢献活動・広報などの費用 |
| | 環境損傷コスト | 0.1 | 0.1 | 1.6 | 0.2 | 土壌汚染等修復費、拠出金などの費用 |
| | 費用合計 | 57.2 | 57.2 | 115.5 | 106.7 | |
| 環境投資額 | 4.3 | 11.1 | 22.4 | 25.2 | | |

| 項目 | 単独 | | 連結 | | 主な内容 | |
|------|--------------------|--------|--------|--------|-------|---------------------|
| | 2005年度 | 2004年度 | 2005年度 | 2004年度 | | |
| 経済効果 | 実収入効果 (億円) | 2.2 | 1.6 | 4.5 | 10.1 | 廃棄物売却益など |
| | 費用削減効果 (億円) | 2.3 | 1.9 | 3.7 | 2.9 | エネルギー費削減など |
| | 部材費低減 (億円) | 31.5 | 20.4 | 33.1 | 20.7 | 材料節約など |
| | 経済効果 (億円) | 36.0 | 23.9 | 41.3 | 33.7 | |
| 物量効果 | 廃棄物最終埋処分量削減 (トン/年) | 0.5 | 6.4 | 381 | 412 | 分別、リサイクルなどによる埋処分量削減 |
| | 環境影響化学物質削減 (トン/年) | 80 | 1,647 | 383 | 1,370 | 化学物質大気排出量の削減 |

環境会計の各データについては、国内33サイトの集計データを用いています。